

文化・芸術・スポーツの分野での活躍に対する各賞  
受賞おめでとうございます

平成29年度の羽幌町文化賞体育賞、青少年文化賞スポーツ賞の受賞者が決定しました。羽幌町文化協会、NPO法人羽幌町体育協会表彰の受賞者とあわせてその功績を紹介いたします。なお、顕彰式につきましては、3月5日、中央公民館において町と各協会の共催で行われました。

羽幌町文化賞体育賞

体育賞



にしむら おさむ  
西村 修さん

昭和45年から軟式野球審判員として活動され、平成15年には羽幌町軟式野球連盟の副会長に就任し、長きにわたり町内の大会はもとより、管内・全道大会の運営や審判員としての活動に尽力されています。また、現在は還暦野球チームに所属し、チームの中心選手として活躍され、選手および審判員として本町の野球競技の振興および普及に大きく貢献された功績は高く評価されています。

羽幌町青少年文化賞スポーツ賞

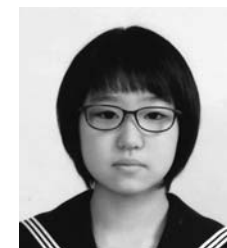
青少年文化奨励賞



しもい らな  
下井 蘭奈さん  
羽幌中学校3年

全漁連主催の平成29年度北海道海の子絵画展において、最高賞である北海道知事賞を受賞し全国展へ推薦され、第40回全国海の子絵画展では特別賞を受賞されました。また、平成29年度いじめネットトラブル根絶メッセージコンクールのいじめポスター部門では留萌管内最優秀賞を受賞されました。

青少年文化奨励賞



なりさわ ゆうな  
成澤 優菜さん  
羽幌中学校3年

全漁連主催の平成29年度北海道海の子絵画展において、優秀賞の公益財団法人北海道漁村振興協会理事長賞を受賞し全国展へ推薦され、第40回全国海の子絵画展では全漁連会長賞を受賞されました。

羽幌町文化協会とNPO法人羽幌町体育協会の各賞

羽幌町文化協会賞(功労賞)

立野 和治さん 平成19年から蕎麦さろん東庵の役員として会の運営に尽力される傍ら、自らは北海道そば研究会に加入し、蕎麦打ちの技術の研鑽に努められ、この間、施設慰問や町内各種行事に積極的に参加され、地域文化の振興に貢献された功績は高く評価されています。

NPO法人羽幌町体育協会スポーツ賞(スポーツ功労賞)

佐藤 勝さん スキー場が建設された当初から体調を崩されるまで、羽幌スキー連盟役員として子ども達のスキー技術の向上に尽力される傍ら、NPO法人となった体育協会の監事として活躍され、当協会の運営に貢献された功績は高く評価されています。

羽幌町文化協会賞(奨励賞)

九谷 志津さん 小学生の頃から現在まで、笛の吹き手として羽幌加賀獅子保存会に加入され、長年にわたり子ども達へ笛の指導員として後継者の指導・育成に尽力され、会の発展はもとより、加賀獅子舞の保存および伝承に貢献された事績は高く評価されています。

羽幌町文化協会賞(奨励賞・青少年)

北村 愛莉さん 北海道主催の第32回全道中学生の税をテーマとしたポスター展において、北海道教育委員会教育長賞を受賞された事績は他の生徒の模範とされることです。



NPO法人羽幌町体育協会スポーツ賞(スポーツ振興賞)

宇野 延仁さん 各連盟の役員を歴任され、本町のスポーツ振興に努力される傍ら、体育協会理事として、各事業においては運営委員として率先して参加され、事業の成功に尽力されているその姿は、他の模範となるところであり、高く評価されています。

NPO法人羽幌町体育協会スポーツ賞(スポーツ奨励賞)

高橋 竜昂さん 小学校3年から格闘技をはじめ、(羽幌高等学校1年) 現在まで東北大会・北海道大会で数多くの上位入賞を果たし、平成29度横浜市で開催された第9回オープンメント全日本空手道選手権大会に北海道選抜チームの一員として出場し、高校1年生男子の部(60kg未満の部)で準優勝した事績は高く評価されています。

札幌ベルエポック製菓調理専門学校と羽幌町が  
包括連携協定を締結しました

これまで、札幌ベルエポック製菓調理専門学校と羽幌町は、羽幌産食材を活用した地域活性化事業として、「はばろ甘えびまつり」で学生が考案した「甘エビのキッシュ」などの販売、調理師科1学年による研修旅行として、漁業者との懇談や農家、水産加工場などでの作業実習の実施、さらには、北海道日本ハムファイターズ主催「なまらうまいっしょグランプリ」へ共同出店し「グランプリ」を受賞するなど、数々の取組を行ってきました。

こうした中、更なる連携強化を図ることによる、それぞれの魅力向上と地域活性化に資することを目的に、本年1月、当校との間に「地域活性化に関する包括連携協定」を締結しました。

今後は、羽幌産食材の有効活用や生産者等との交流を通じ、学生の食への理解や知識向上と卒業生による食材の利用促進、学生による当町事業所への就労や起業などが期待されます。また、関係者



による食に関する懇談会の開催、イベントへの参加、商品開発などへ学校が持つ技術や知識の活用などに努めていくものとしています。

これまで、本取組に対し多くのおみなさんからご協力をいただいておりますことに、この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、引き続きのご理解ご支援についてよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 地域振興課政策推進係 ☎68-7013(課直通)